



# ほうき

# 議会だより

第51号

2017年10月25日



米フェスタ稲刈りウォッチング

## おもな内容

- 平成29年度一般会計補正予算…………… 2～3ページ
- 全員協議会…………… 4ページ
- 諸報告…………… 5ページ
- 行政調査報告…………… 6ページ
- 一般質問……………7～15ページ
- 議会の虫めがね、編集後記…………… 16ページ

## 人の動き

	平成29年9月30日現在	前年同月比
人口	11,128人	△171人
(男)	5,304人	△92人
(女)	5,824人	△79人
世帯数	3,822世帯	5世帯

# 平成29年度 一般会計補正予算（第2号）

- ・ 議員定数等に関する住民アンケート 58万円
- ・ 後期高齢者支援金一部負担分として繰出し（法定外） 7千万円
- ・ 生活保護扶助費他 1千350万円
- ・ 農地耕作条件改善事業（新規） 800万円

“1億2千800万円を増額補正し、補正後総額は、77億3千200万円に”

平成29年度  
一般会計補正予算  
(第2号)

### 歳入

- ・ 普通交付税 1663万円の増
- ・ (補正後総額31億633万円)
- ・ 町税 5002万円の増
- ・ (固定資産税滞納繰越分)
- ・ 国庫支出金 1625万円の増
- ・ (生活保護費負担金)
- ・ 繰越金 1億8200万円

### 歳出

- ・ 議会運営費 (住民アンケート費) 58万円
- ・ 情報処理事務費 729万円
- ・ LED街灯整備補助金 17万円

**普通交付税は、31億600万円に 対前年度比5千600万円の減**

平成29年9月定例会は、9月5日から会期を18日間として行われた。この会期中に上程された議案は、補正予算関係をはじめ、平成28年度の各会計歳入歳出決算認定議案等。なお、一般会計での平成28年度からの繰越金は、1億8千200万円。



枋原地内水路改修予定地

- ・ 国民健康保険特別会計 繰出金 7000万円
- ・ (後期高齢者支援金一部負担分繰出金を増額)
- ・ (法定外) 民生費関連返還金 1352万円
- ・ (生活保護扶助費等) ふれあいの森等管理事業 1545万円
- ・ (別所川溪流植物園トイレ等改修工事)



別所川溪流植物園のトイレ全景

- ・ 農地耕作条件改善事業 800万円
- ・ (水路改修事業を本事業組替えにより地元及び町負担割合軽減を図る)
- ・ (坂長・枋原水路は設計費)
- ・ 園芸産地活力増進事業 229万円
- ・ 除雪機購入単独補助事業 46万円



岸本中学校の授業風景

- ・ 特別支援教育支援事業 125万円
- ・ (日本語授業が困難な国外転入生を支援)



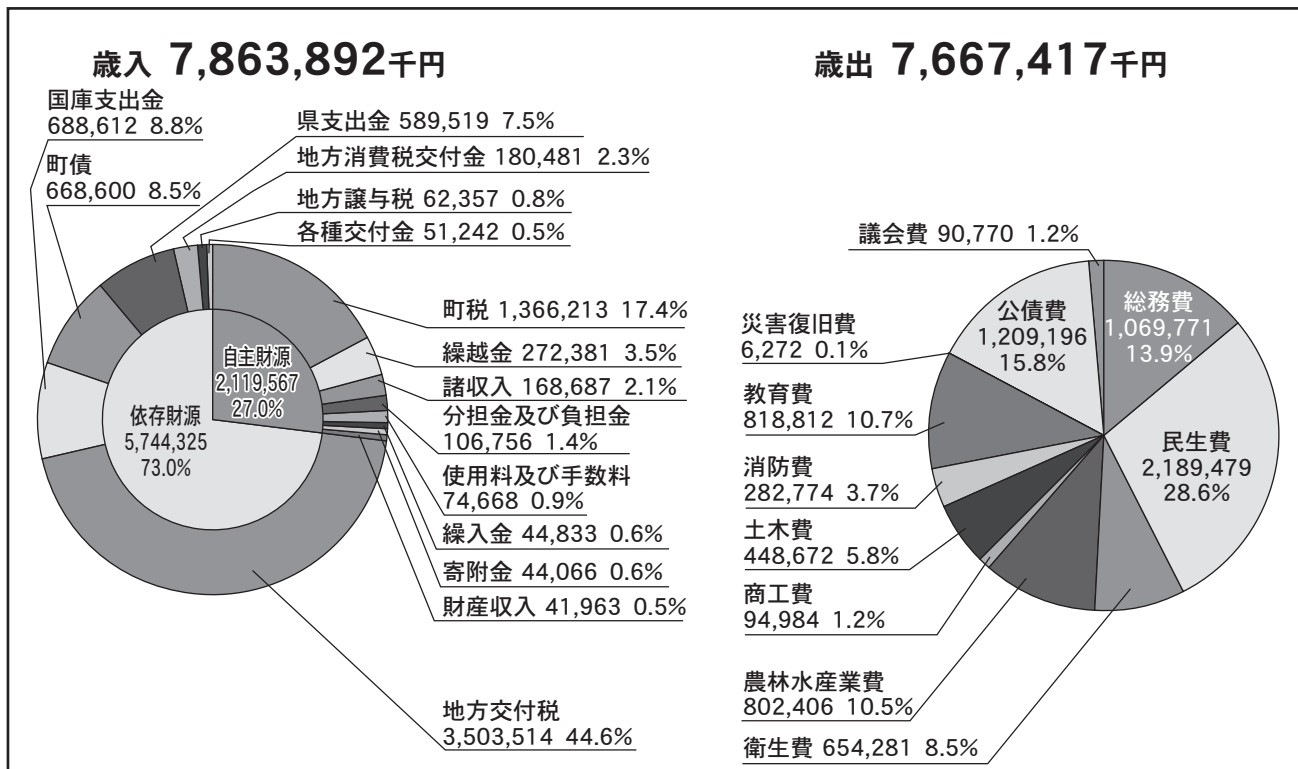
ホイールローダー用排土板

# 平成28年度 一般会計決算を認定 H29. 9. 20認定

平成28年度一般会計決算のあらまし **歳入** 78億6千万円 (対前年度比 5.6%)  
**歳出** 76億7千万円 (対前年度比 6.8%)

※実質単年度収支は2千501万円の赤字 (翌年度繰越財源調整後)

(単位:千円)



## 平成28年度予算決算等常任委員会(決算)審査意見

- 1 町税等の徴収については、相応の努力をされ一定の成果も見受けられるが、原則として国税徴収法に依拠し、滞納処分(差し押え、強制換価、配当)を行い徴収義務の実効化に努められたい。
- 2 単独町補助金及び委託料について、その支出効果が既に相当と認められるものあるいは、その支出効果が、あまり将来的に期待できないものは、その受け入れ団体等ともよく協議、合意の上、検討されたい。
- 3 地域の各種取り組みや地域整備をさらに推し進め、また、住民負担の軽減を図る観点からも町単独補助要綱のうち補助率の嵩上げを検討されたい。
- 4 各種事業の取り組みや助成制度などを積極的に町民に周知されたい。
- 5 有害鳥獣対策用の電気柵やワイヤメッシュ等について、その有効性等を広く周知するとともに、それらの効果的な設置方法等について、さらに広報、研修等を行われたい。
- 6 一般社団法人であるスマイリースポーツクラブは、町と、この一般社団法人との委託関係について委託業務の仕様等の明確化を図られたい。
- 7 次の事項について、鋭意、進捗され、その効果を挙げられたことは、高く評価する。
  - (1) 小中学校舎の耐震補強、小学校等体育館の改築、学校空調設備の改修等、教育環境整備に多大な行政事務コストと行政経費を投入し、一定の完了をみたこと。
  - (2) 岸本放課後児童クラブ(第2ルーム)と小規模保育所こどもパルの新設、こしき保育所改修による環境整備と受け入れ可能人数の拡大等、子育て支援体制の拡充が図られたこと。
  - (3) 地方創生関連事業による「フィットネス&スタジオパル」のオープンは、町民の健康増進、雇用の場の創出、公共施設の有効活用が図られ、将来に向けて有意義な事業展開がスタートしたこと。

以上

みんなが知りたい

# 全員協議会

平成29年9月定例会関連の全員協議会は、9月1日・21日に開催。本会議上程議案などを協議した。

## 主な協議事項

### ●国民健康保険制度改正

平成30年度から、県が国保財政運営の責任主体となり、国保運営の中心的な役割を担う。

町は、保険料率の算定、賦課徴収、保険給付、保険事業など地域における事業を引き続き担う。

### ●清水の里団地販売促進

空地の販売促進のため、若者定住用、建売販売用として土地取得価格の割引率拡大、固定資産税減免措置が行われる。

### ●各種報告

①第2次伯耆町総合計画の取り組み状況

②伯耆町まち・ひと・しごと総合戦略の取り組み状況

③教育に関する事務の管理及び執行の状況点検及び評価結果が報告された。

### ●二部真砂土採取地区拡張

美保テクノス(株)が二部地区で行っている建設発生土受入事業地が651.1m<sup>2</sup>拡がり、新たに真砂土採取事業地として68,826m<sup>2</sup>が拡張される。

## みなさんからの請願・陳情は次のおりとなりました

### 9月定例会で審査した請願・陳情の委員会、本会議での採決結果

名称	提出者	付託委員会(採決結果)	本会議採決結果	理由
「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情	全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣一徳	総務経済 常任委員会 (採択)	採択 (意見書提出)	温室効果ガス削減対策の一つとして、市町村が実施する森林整備等に必要とする財源に充てるため。

議員提出の政府への意見書は否決となりました。

- ①「北朝鮮と米国の直接対話のための努力を求める」意見書
- ②「核兵器廃絶への取り組みを求める」意見書



南部箕蚊屋広域連合議会行政視察 (H29)

# 一部事務組合 報告

- 6月27日 鳥取県町村議会議長会定期総会 篠原議長
- 6月30日 南部町・伯耆町清掃施設管理組合臨時会 渡部議員
- 7月11日 日野病院組合議会臨時会 長谷川議員
- 7月12日 西部町村議会議長会臨時総会 杉原議員
- 8月28日～30日 西部町村議会議長会議長行政調査 篠原議長
- 7月19日 西部町村議会議長会正副議長、局長研修(日野町) 篠原議長
- 8月22日 南部箕蚊屋広域連合議会定例会 幸本副議長
- 8月23日 南部町・伯耆町清掃施設管理組合定例会 杉本議員
- 8月24日 西部広域行政管理組合議会臨時会 長谷川議員
- 8月31日 日野病院組合議会定例会 杉原議員

# 委員会調査・研修会 報告



広報研修会 (湯梨浜町 水明荘)

- 7月5日～7日 議会広報常任委員会行政調査 一橋委員長
  - 8月24日 鳥取県町村議会議長会広報研修会(湯梨浜町) 長谷川副委員長
  - 7月12日 議員定数等調査特別委員会調査(日南町) 幸本議員
  - 8月18日 西部町村議会議員研修会(日古津村) 杉本議員
  - 7月27日～28日 これからの地方自治監査の役割とあり方 森下議員
- 全議員
- 永井議員

内容・詳細につきましては、議会事務局に資料が有りますので閲覧ください。

### 議会広報常任委員会行政調査報告

## 議会広報編集・作成技術向上及び有効な情報発信方法等について調査

調査期間 平成29年7月5日から同年7月7日まで（3日間）

調査先 ニュースパーク 日本新聞博物館（横浜市）／町村議会広報クリニック（東京都）

行政調査委員 議会広報常任委員会委員 一橋 信介、長谷川 満、幸本 元、乾 裕、杉本 大介、森下 克彦（計6委員）

### ニュースパーク 日本新聞博物館



報を簡潔に伝える記事の特徴、相手に伝わる文章の書き方を学ぶ。

#### ■新聞の読み方

編集の記事構成を意識しながら新聞が読めるよう見出しの工夫や記事のポイントを学ぶ

#### ■情報産業としての新聞

伝えるべきニュースの取捨選択、ニュースの価値判断、事実確認のチェック正確な情報の価値、情報リテラシーの大切さを学ぶ。

#### ○元新聞記者からの新聞レクチャー

「新聞の変遷」「文章の書き方」「新聞の読み方」「情報産業としての新聞」を解説。

記者の実体験を交えて新聞づくりのノウハウを学ぶ。

#### ■新聞の変遷

瓦版から近代新聞への移行および印刷技術向上の歴史を見学。

#### ■文章の書き方

誌面構成や記事の書き方の基本解説を受け、情

#### ○調査のまとめ

・「伝えたい」「知りたい」の原点を再認識した。

・読者側に立つての議会だよりの記事作成の大切さを学ぶ

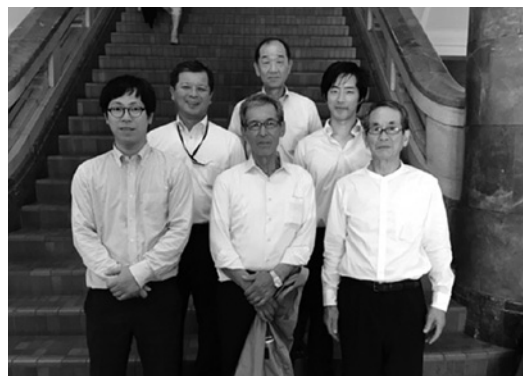
・多くの皆さんに読んでいただくための構成の大切さを学ぶ

・今後の議会だよりに大いに反映し活かしていく。

## 分かりやすく、読みやすい広報の勉強。「伝える重要さ」を学ぶ。

### 町村議会広報クリニック

講師 芳野 政明 氏（議会広報サポーター）



#### ○調査のまとめ

・ニュースパークでは、新聞での旬な記事ポイントのセレクトや見せ方を学ぶ。

・町村議会広報クリニックでは、町民にわかりやすく情報提供するための紙面構成について学習した。

いずれも、早急に当議会広報にも反映させるべく、委員会で訂正案を提出し、広報で進化させていく。

#### 講義・議会だよりのクリニック

##### 視点

ア. 住民に分かりやすく情報訴求するための紙面構成となっているか。

イ. 住民に読んで頂くための紙面編集という次の視点となっているか。

ウ. 住民に見やすい紙面表現となっているか。



議会広報クリニックを受講する広報委員のメンバー

# 一般質問 町政を問う！

一般質問とは、議員が町長等（執行機関）に対し、町の行政全般について執行状況や将来の方針等を問うものです。

8人の議員が一般質問を行いました。

## 基本ルール

- ・質問要旨は事前に通告
- ・持ち時間は1人60分
- ・町行政に関係があるもの

伯耆町では1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。  
臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。

ページ	質問事項	質問議員
8	1. 地元業者の下請け参入は 2. 障がい者が暮らしやすい社会づくり(あいサポート条例) 他	渡部 勇 
9	1. 後期高齢者医療費3年連続トップの対応は 2. 県一本化の国民健康保険どうなる 他	細田 栄 
10	1. 新たな特産品の開発は 2. 狂犬病予防注射接種の状況は 他	乾 裕 
11	1. 水道事業運営の基本的な考え方は? 2. コミュニティ・スクールの取り組みで変わったところは?	永井 欣也 
12	1. 植田正治写真美術館の運営事業について 2. 地方公共団体における非正規雇用職員の状況	森下 克彦 
13	1. 乳児家庭保育支援事業の給付期間の拡充 2. 動物愛護の普及啓発によるモラルの向上	杉本 大介 
14	1. 子どもの医療費完全無料に 2. 住民のゴミ・最終処分場の安定確保は、行政の責務 他	幅田千富美 
15	1. “学校給食の無料化”の動向 2. コメの減反・廃止 他	勝部 俊徳 

議事録は議会事務局や議会ホームページで閲覧できます



youtubeの二次元バーコードはこちらです。

# 町政を問う



大規模改修中の溝口体育館

## 小規模業者全国で 3万社が廃業！



渡部 勇

**渡部** これまでの競争入札はどのように行われているか。

**町長** 全般に公共調達は地方自治法に競争原理を活かした入札をするところ、このことが基本となっている。

**渡部** 設計業者の発注方法は。

**町長** 指名審査委員会において、過去の実績、県の格付けなどを参考に指名する業者数を決定し、最終的に指名入札で落札者を決定する。

### 地元業者の下請け参入は

### 町長 地元業者の下請けは地域経済に配慮し行うことが出来る

**渡部** 町内業者が事業を受注した場合どのような波及効果があるか。

**町長** 業績が伸びることによって、雇用の安定、賃金・雇用条件の改善につながる。

障がい者が暮らしやすい社会づくり(あいサポート条例)とは。

**渡部** あいサポート条例が9月1日に施行されるが本町の取り組みは。

**町長** 検討会の中で何か具体的なこととして、相談体制が非常に現状脆弱という意見がそれぞれの団体から表明があり、今回9月施行された条例に基づいて、相談体制を充実するため東・中・西部の3か所に窓口を設けられた。市町村としては緊



伯耆みらい

密に連携を取っていく。

**渡部** 県及び市町村は、「障がい」や「障がい者」について学ぶ機会を設けるよう努めることと規定されており福祉教育に力を入れるべきと考える。

**教育長** 学校教育において障がいについての理解障がい者の暮らしやすい社会づくり、あるいは特別支援学級の理解については、子どもたちが学習することももとより保護者にも理解してもらう。し

かし、まだまだ不十分な面もあるため一層の推進を図る。

### 町管理の文化財について

**渡部** 国・県・町指定はどのような審議過程を経て、それぞれ決まるか。

**教育長** 文化庁が調査し、文化審議会に対して指定の可否を諮問し、審議会の答申を受けて文化庁が指定の可否を決定する。県の指定も同様である。町では教育委員会の事務

**渡部** 文化財を活用した事業の充実とは何が考えられるか。

**教育長** 町内での文化財の活用はそれぞれの学校において文化財の現地見学など様々な形で活用されている。今後も学校教育での活用、あるいは地域おこしとなる活用を期待する。



大寺廃寺の石製鴟尾



# 町政を問う

## 後期高齢者医療費 3年連続トップの対応は

### 町長 町内外の医療施設に恵まれている結果だ



ゆうあいパル・プール

**細田** 高齢者の方が抱える不安のなかで大きいのは、生活を支え、介護サービスや医療を受けるための年金収入に対する不安が多いようだ。概ね10年くらいは、現状程度の給付が見込まれるか。

**高齢者が不安に思うこと**



細田 栄

## 県一本化の国民健康保険どうなる

### 町長 保険料の統一は難しい

**町長** 年金支給額は物価スライドになっているため、現在の経済情勢では大きな変動は無いと思っている。

ただし、支給年齢の引き上げは想定される。

### 後期高齢者医療費 県下トップの対策は

**細田** 本町の被保険者一人当たりの医療給付費が3年連続で県下一番になった。

一人当たり90万円から100万円にもなっている。そこで、本町は町内外の医療施設に恵まれており、後期高齢者の方が積極的に利用されているので、止むを得ないと思っているか。

**町長** 療養給付費の利用実績については、止むを得ない結果だと思ってい



健診を受けましょう

る。しかし、健康寿命を延ばす努力は町民の皆様と行政が一体となって取り組む課題と思っている。特に検診率の向上、人間の食生活改善等に力を入れたい。

### 国民健康保険、県一本化の対応は

**細田** 現在各市町村が実施している、国民健康保険を来年4月から県で一本化して実施するようになるが、加入者の保険料は県下統一されるか。

**町長** 保険料は、まだ決定していないが、統一は

難しいと考えている。**細田** 療養給付は、利用実績に応じて負担することになるか。

**町長** 利用実績に応じて、納付金として負担することになる、納付金の集め方は各市町村任意となる。



フィットネス・パル

# 町政を問う

## 新たな特産品の開発は

### 産業課長 アスパラガスを支援



アスパラガス

産業課長 軽量、作業負荷が軽く、高齢者でも取り組みやすく利益性が高いアスパラガスを支援している。

乾 平成24年度の伯耆町版農地白書によれば65才から79才までの男女の農業人口は798人で全体の52%、80才以上を含めると70%以上を占める。高齢者でも比較的容易な作業で生産できるものが求められている。

高齢者でも意欲のある方への農業支援は



乾 裕

## 狂犬病予防注射接種の状況は

### 地域整備課長

H28年度、登録数629頭  
注射済448頭接種率71.2%



軽トラ市の様子 (大山ガーデンプレイス)

大山開山1300年祭で農産物販売の促進を

乾 農産物販売拠点施設で軽トラ市等を開催の際に要請があれば町が情報発信するなどの支援は

町長 ようやく大山開山1300年祭に向けて、

既存事業のPR体制が整って来た。関連施設にもPRグッズ等配布しているところであり、今後、実行委員会が行う情報発

信と連携していく。

狂犬病予防注射接種率が低い。

乾 県西部の平均接種率が67.6%東部は79.9%県中部は77.1%だった。

地域整備課長 28年調査を実施し、接種していない犬の多くが死亡していた。

災害時の断水でも使えるトイレ等の備えについて

乾 熊本地震の教訓を受けて文科省の有識者委員会が昨年7月にトイレや電源の確保を求める緊急提言を発表した。

本町の取組みを伺う。

総務課長 簡易型トイレ

17セット、収納袋と凝固剤セットが1800個。

二部小のトラクター発電装置は16Kwの能力で体育

館の照明・パソコン5台分、エアコンなど使用可能。

乾 岸小・岸中・溝小の太陽光発電パネルは非常用電源として使用可能か。

教育長 職員室等に非常用電源コンセントがあり使用可能だが充分ではないため将来的には非常用発電機や蓄電池の設置など検討したい。

乾 二部・日光・岸本公民館等の非常用発電機の設置は。

総務課長 設置されていない。備えとしては、防炎用発電機各種11台を保有不足の時は、災害協定により民間に依頼することになっている。



スケットイレ®用便座



二部小に設置されているトラクター発電機

# 町政を問う

## 水道事業運営の基本的な考え方は？

### 町長 料金の上昇圧力を抑える運営理念に立つ



水道老朽管の更新の様子

**永井** 水道老朽管の更新、諸施設の整備について、公営企業会計が適用される中で、財政運営の基本的な考え方は。

**町長** 料金収入をもって会計を回すのが目指すところ。本町は人口集積地とは言い難く、効率的にならない、地域の行政サービスとして行っている観点からも、一般会計か



永井 欣也

らの出資という手法を含め、料金値上げ圧力を和らげるといのが総合計画で目指している姿。

**永井** 緊急消火用水としても使用。22箇所の水源の取水供給に問題ないか。

**町長** 計画水量も環境状況変化で下がる箇所もある。生活用水に支障をきたさないよう計画的に他の水源から給水している。

#### 教育長

### 子ども達を地域で一緒に育てる気運の醸成

## コミュニティ・スクールの取り組みで変わったところは？

水不足への対応につき、もう少しやり易くなる方法がないか検討している。

**永井** コミュニティ・スクールが規定される「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」改正の要点は。

**教育長** 学校運営協議会の設置が任意から努力義務化された。学校現場の課題解決のため、社会総掛かりで教育の実現を図ってゆく必要性の高まりから改正されたもの。

**永井** コミュニティ・スクール指定の前と後では、何が大きく変わった。

**教育長** 情報発信の機会増、当事者意識の高まり、学校の応援団増など、地域で一緒に育てようとする気運の醸成が図られる。委員は15名以内で、年6



学校運営協議会委員と教職員の熟議の様子

回の開催。学校運営協議会活動のPDCAサイクルを回し、評価、提案を行う。保小中一貫教育と合わせもって進めたい。

**永井** 今般公表された全国学力テスト等の結果から見えてきたものは。

**教育長** 小6、中3のみ実施だが、学校間の差が開いてきている。校長会教務主任会を開催し、意識して取り組むよう指導。

※PDCA  
学校運営に関する計画を実施しこれらを検証（評価）し改善していくこと。

町政を問う

町の行政運営を問う

①

	有料入館者	町民無料入館者
26年度	21,354人	2,617人
27年度	17,833人	542人
28年度	18,314人	689人

②

26年度	イモトアヤコ写真展、パーカッションコンサート、町文化展 約14,000人
27年度	遊佐未森ミュージアムコンサート 約200人
28年度	塚本浩哉ミュージアムコンサート 約40人

③

	事業収入額	事業支出額
26年度	1,691万円	2,406万円
27年度	1,367万円	2,689万円
28年度	1,596万円	2,630万円

**森下** 開館後22年を経過するが、ここ3年間の①有料入館者数と町民無料入館者数②写真展以外のイベント内容と入館者数③町財政における収入と支出額は。

**教育長・教育次長**  
表のとおり

**植田正治写真美術館の運営事業**



森下 克彦

植田正治写真美術館の運営事業について

**教育長**

フォトスクールの開講、児童の見学施設として利用している

**森下** この美術館のあり方について、平成25年に町議会で、各種事業実施の自由度の高い町民に親しまれる施設とすると決まされ、町の総合計画では住民の意向を反映させた美術館とするとされている。個人の写真展示に特化しない利用が望まれるが、費用対効果の面から、より総合的な芸術・



植田正治写真美術館全景

文化施設として利用すべきでは。

**教育長** 町民に親しまれる施設とすべく、写真展以外の事業、フォトスクールの開講、児童の見学施設として利用している。

**地方公共団体における非正規雇用職員の状況**

**森下** 官民を問わず、非正規職員の増大は、所得が少ないがために個人消費も進まない状況となっている。町の業務に従事する正規職員と非正規職員の人数は。また、非正規職員の給与等雇用条件の決定方法は。

**総務課長** 正規職員145人・35%、非正規職員(フルタイムとパート含む)269人・65%の状況。給与等雇用条件は、地方公務員法及び町規定に基づき、諸条件を考慮し決定する。

**森下** 国は地方公務員法の改正を行い、「会計年度任用職員制度」を導入する。これは、住民に行政サービスを継続提供する必要がある恒常的な仕事まで、1年以下の雇用期間の職員に行わせて、さらに非正規職員の増大を図ろうとするもので、依然、パート職員は低待遇のまま置かれる内容となっている。制度運用に際しては、町民である非正規職員の立場に立った運用が必要と考えるが、この制度に対する対応方針は。

**町長** 平成32年4月に施行予定の制度で、町として制度の導入をせざるを得ないが、雇用条件が悪化するような対応はしない方針。

# 町政を問う

## 乳児家庭保育支援事業の給付期間の拡充は

### 町長 効果が伴うかどうか、分析にはまだ材料不足



杉本 大介

**乳児家庭保育支援事業の給付期間の拡充（延長）**

**杉本** 生活の安定と乳児期の親子の愛着形成をはかるため、伯耆町が全国的にも先駆けて実施した乳児家庭保育支援事業。これまでの申請の状況や反応は。

**町長** 育児休業給付金が減額になってから1年まではその分を補填し、加えて、家庭で有職ではない親の方への支援も並行して進めるべきという政策判断を取ったもの。  
**福祉課長** 平成27年度、28年度の2年間で、124人の児童を対象に認定して、今年4月にアンケート調査を行なった。自由記述でも、大変好意的なコメントが多く書いてあった。

## 野良猫の課題はモラルが最重要

### 町長 一生を終えるまでは飼い主の責任

「この手当により保育所入所の時期を遅らせた」…11人/55人  
「この手当により伯耆町に転入を選択した」…3人/55人  
「子育てする期間について制約がなければ3歳くらいまでは家庭で保育したい」…28人/55人

今年4月に行なったアンケート調査から抜粋  
28年度までに受給した115人の保護者（転出者除く）を対象

また、全国の自治体や大学の研究者からも問い合わせがあった。本町での実施後、県が補助事業化したということは大きな反応。

**杉本** 平成29年度に県が「おうち子育てサポート事業」を開始したことで、伯耆町の負担額が減った。浮いた予算分を充てるなりして給付期間の拡充（延

長）の検討はされないか。

**町長** 結論としては、こういった可能性を否定するものではない。政策理念に効果が伴うかどうか。少なくとも少子化対策として、出生数をあげるということにはど

れだけ結びつくのか。分析するには、まだ2年間では材料不足。

### 動物愛護の普及啓発にやるモラルの向上

**杉本** 平成28年7月から「猫の不妊・去勢手術費補助金」が実施された。実施前と比べて相談件数等には変化があったか。

**地域整備課長** まだ現在もかなりの相談や苦情を寄せられている。

**杉本** この課題において、もっとも重要となるのはモラル。

モラル普及啓発のための予算や、その活動をするボランティア団体支援のための予算を考えないか。

**町長** 動物愛護の法律もあり、一生を終えるまでは飼い主の責任なので、モラルとしてしっかり徹底していただかないといけない。

たとえば飼い主が介護状態になって、ペットの世話ができなくなる不可

避な状況の可能性もある。そのリスクを避けるためにも、補助制度を利用していただける方や、集落が現れることを期待している。

予算化にいきなりいくかどうかは別としても、ボランティア団体等があれば、公民館に企画提案などをぜひおこなっていただけると、有意義なものになるだろう。

実施されてからの申請件数

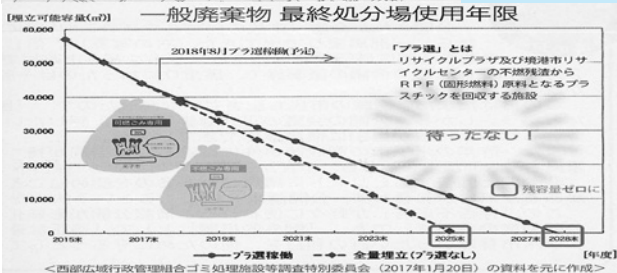
	飼い猫	飼い主のいない猫	集落からの申請
H28年度 (7月～H29.3月)	23件	3件	0件
H29年度 (8月末時点)	4件	4件	0件



「お家に帰ろう。SPECIALS」主催の啓発活動の1つ、『小さな命の写真展』

# 町政を問う

## 国の悪政から町民のいのち、くらし、福祉を守る町政を！



**幅田** 鳥取県西部広域行政管理組合の一般廃棄物最終処分場は、あと10年で満杯の予測。その処分場の隣に次期一般廃棄物最終処分場として使用が予定されていた空地(約半分米子市有地)に、産廃場が作られようとして

**住民のゴミ・最終処分場の安定確保は、行政の責務**



幅田千富美

### 子どもの医療費完全無料に

町長

小学校入学前まで求めている

一歩一歩進めたい

いるが、反対運動が起きている。産廃処分責任は排出業者にある。一般廃棄物処理は、2市7町村26万人住民の問題。住民生活を守る上から、産廃処分用地に提供されないよう、米子市長に要請されないか。

**町長** 下水処理残渣等この処分場に搬入しているが、米子市有地のことなので米子市議会で決められること、要請はしない。

**住宅耐震化、シェルター防災瓦など、住宅リフォーム制度の創設で、取り組みの促進を！**

**幅田** 県は中部地震被害をふまえ、住宅改修に補助制度を拡充、耐震シエルトや屋根瓦落下防止対策に補助対象を拡げているが、市町村で制度化されず、4市町村のみしか進んでいないとの報道である。本町も取り組み、生活環境の安全確保に努めないか。又、住宅リフォーム制度を創設し、地域経済の振興を併せて普及を計られないか。大山町等は10倍の効果を上

**町長** 当初予算編成時に間にあわず取り入れていないが、事業効果等精査し、バリアフリー化等とも併せ検討してみたい。

**社会保障・医療・介護保険関連法正に伴う町の対応は**

**幅田** 安部政権が先の国会で強行採決した「地域包括ケアシステム強化のための介護保険法等改正法」は介護保険法のみならず、社会福祉法、医療法、障害者総合支援法、児童福祉法等31本もの法案を一本にまとめたものであるが、審議時間は不十分のまま強行採決、日弁連や関係者をはじめとした諸団体が憲法違反と反対。抗議の宣言、声明を上げている。しかし、地方自治体は来年度から、

その対応がせまられている。その対応を問う。  
**町長**は、県町村会長としても、国、県にしっかりと住民の声を届けていたきたい。

**町長** ①国保県一本化については、県にも様々な見を上げた。  
県一本化に伴い、国保税引き上げにならないよう、来年度対応については9月補正を計上した。  
②乳幼児医療費助成制度に対する国庫負担金減額(国保ペナルティ)は、来年度から未就学児に限り廃止されるが、一歩一歩の改善を求める。

# 町政を問う

## “学校給食の無料化”の動向

**教育長** 町全体の総合的な施策の中で考える



鳥取県民の日の学校給食 (H29. 9. 12)



H30年度からは、「減反」が廃止されます



いつまでも健やかに！(西部地区高齢者運動会)



勝部 俊徳

### コメの減反・廃止

**町長** 農業施策の全体像を提供

### 高齢者のフレイル対応

**教育長** フレイルが重くならないよう運動や栄養を

**勝部** 学校給食費の無料化への考え方は、また、その経費の必要見込み額は。

**教育長** 小中学校の給食を無料化した場合、約4千6百万円の町の持出し。この問題については、子育て支援や保護者の負

担軽減の観点と町全体の総合的な施策の中で今後考えてゆくべきものと思う。

**勝部** 2018年度からのコメの減反廃止についての町の対応は。

**産業課長** コメの計画的な作付を各地区協議会で

図ることとなり、本町もこの方針に従い対応してゆくこととなるのではないかと。

**町長** 全体の枠組みが決まらないと何ともいえない。新しく始まる収入保険制度をはじめ、農業施策の全体像を提供し、営

農計画の元としたい。

**勝部** 高齢者の虚弱解消対策や栄養対策などについて、どう対応してゆくのか。

**健康対策課長** 「フレイル」とは、高齢者の虚弱など加齢に伴う心身の活力低下などをいう。今後は、その対策として医療と介護を連携して

ゆきたい。

**勝部** その基本的な考え方は。

**健康対策課長** フレイルの国のガイドラインを参考にして来年度予算においても対応したい。

**町長** フレイルが重くならないよう運動や栄養をみんなが自覚することが大切。町も事業展開。



## 国の登録有形文化財

# 出雲街道 矢田貝家住宅

約一六〇年もの間、この場所に佇む旧家は時代の流れを目の当たりにしてきた。旧出雲街道である国道一八一号線沿いで外観や存在こそ知る方は多いが、中はどのようなつくりかを知らない方もまた多い。そこでこちらの建物を現在店舗として使用する「日本料理 昇龍荘」のオーナーに話を聞いた。



近代の風情豊かな屋敷構えを  
後世に伝えていく

**オーナー** 近世末期の当地方の伝統的な主屋と一連の付属屋、庭園に息吹を与えるべく、小料理屋の経験を生かし日本料理を日本庭園を見ながら味わえる空間を提供する夢を叶えました。



荒れた庭園を自ら整備し、迫力ある木のテーブルやベンチを置くなご、高齢者の方々でも居心地の良い場所へと工夫を凝らしています。

**質問** 新たな動きについて。

**オーナー** 島根大学との地域の歴史資料調査活動「伯耆地域近代化遺産発掘プロジェクト」の一環で、「生活日誌」書簡の調査が行われ、昭和初期のこの辺りでの生活の営みが記された文化資源が見つかりました。また、これらを展示して、一般の方々にもご覧いただける準備をしています。

紅葉シーズン周辺の庭園をご覧にぜひお出かけください。



矢田貝家住宅  
「日本料理 昇龍荘」  
住所／伯耆町上細見489  
電話／0859-68-3008  
営業／11:30～14:00 (OS13:30)  
17:30～21:00 (要予約)  
店休／水曜日 & 不定休



## 編集後記

今号の議会だよりはいかがでしたでしょうか。より読みやすく、わかりやすい広報誌を作るため、委員会メンバーは日々、研鑽を積んでおります。少しずつでも反映していきますので、毎号の発行を楽しみにしていただければ幸いです。さて、昨今の少子高齢化が叫ばれる中、第一子を授かりました。親の立場にもなりましたので、新たな視点も取り入れながら、議会広報に一層の力を入れてまいりたいと思います。  
(杉本 大介)

### 【編集】

議会広報常任委員会

委員長 一橋 信介

副委員長 長谷川 満

委員 幸本 元

委員 乾 裕

委員 杉本 大介

委員 森下 克彦

「議会だより」に対するご意見をお待ちしております。

